

関係各位

2026年10月期第1四半期 連結決算の概要

2026年3月12日
株式会社トップカルチャー

(1) 総括

当社グループの2026年10月期第1四半期連結決算（2025年11月1日～2026年1月31日）は、以下の通りです。

- ・売上高： 47億 28百万円（前年同期比 96.6%）
- ・営業利益： 1億 17百万円（前年同四半期営業利益 4百万円）
- ・経常利益： 1億 2百万円（前年同四半期経常損失 16百万円）
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益： 86百万円（前年同四半期純損失 28百万円）

(2) 連結業績の要素別分析

中期経営計画（2024/10月期～2026/10月期）の最終年度として、読書という“人”にとってかけがえのない文化を継承するべく、持続可能な書店創りの方針のもと、書籍では、オリジナル企画や施策及びEC販売を強化、加えて、書籍を中心とした事業展開や商品・企画の導入を促進し、店舗の付加価値を追求してまいりました。

取り組みの中心となります書籍は、品揃えを拡充、提案力を高めたオリジナル企画やフェアを間断なく展開し、EC販売につきましても、継続的に一定の売上水準を維持しつつ、限定特典付き商品の販売なども実施、リアルとネットの共創により売上を創出いたしました。また、他企業へのオフィスライブラリーの設置や、読書に触れ合うイベント開催等を通して、読書との出会いを創出する取り組みにも尽力しております。

加えて、複合書店の強みを活かし、“書籍×〇〇”の掛け合わせによる店舗の付加価値向上を図るべく、定番商品の品揃えを一層充実させるとともに、全国の人気お取り寄せ食品やSNSで話題となっているキャラクターシールやグッズ等の販売を強化、併せて、人気通販ショップや観光物産展など多様なPOPUPショップの展開も拡大し、書籍との複合化を加速させた取り組みが奏功、感動体験や自己発見から蔦屋書店とのシナジー効果を高めることができました。このほか、スタンプキャンペーンや企画販売の実施により来店や購買機会の拡大を図った結果、特撰雑貨文具の売上は、既存店同期比 102.0%となりました。

さらに、店舗内にアミューズメントパークを7店舗新規オープンし、昨年7月以降12店舗でサービスを開始いたしました。加えて、新たなFC事業として「買取大吉」を2025年11月20日にMORIOKA TSUTAYA（岩手県）にオープンし、多くのお客様にご来店いただき、想定を上回る好調なスタートとなりました。

また、2025年11月1日に蔦屋書店八王子みなみ野店（東京都）店内に併設されておりましたタリーズコーヒーを事業承継し、「タリーズコーヒー八王子みなみ野店」としてリニューアルオープンいたしました。2026年2月28日には、ゲーム・トレカ事業の「ふるいちトップブックス八王子みなみ野店」もオープンし、書籍を中心とした持続可能な書店へと大規模改装を行いました。

今後も、新たな事業展開や商品・サービスの導入を加速させ、来店機会の拡大を図るとともに、感動や発見を体験いただくことで再来店へと繋げる施策を強化し、第2四半期以降も持続可能な書店創りに向けた改装を推し進めてまいります。

グループ子会社4社につきましては、ゲーム・トレカ事業（前年同期比123.6%）、Café事業（前年同期比113.8%）、スポーツ関連事業（前年同期比103.4%）、訪問看護事業（111.4%）と、それぞれの売上が前年を上回り、連結売上高に大きく寄与いたしました。子会社事業の成長をグループ内で共有、蔦屋書店事業の活性化及びグループ全体の成長にも繋げてまいります。

店舗状況につきましては、蔦屋書店におきまして、契約期間満了等に伴い2店舗営業を終了し、店舗数は44店舗となりました。また、グループ子会社におきましては、事業承継に伴い1店舗出店し、子会社の店舗数は55店舗、合わせてグループ全体の店舗数は、99店舗（2026年1月31日時点）となりました。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、連結売上高47億28百万円、営業利益1億17百万円、経常利益1億2百万円、親会社株主に帰属する当四半期純利益86百万円となりました。売上高は、大型店舗を中心に牽引、主軸であります書籍や特撰雑貨文具は堅調に推移、子会社も好調でしたが、営業を終了した店舗及び1月下旬の最強最長寒波による大雪の影響から、前年を下回りました。利益は、店舗運営オペレーションの見直しが奏功し、既存店舗の利益改善が進みました。

(3) 今後の展望

第2四半期以降につきましても、中期経営計画の最終年度として、“持続可能な書店創り”の方針のもと、読書と触れ合う機会を創出するべく、提案力を向上させたオリジナル企画や施策を強化、加えて書籍を中心とした“書籍×○○”による付加価値と来店機会の創出をさらに加速させ、書籍との複合化に取り組んでまいります。

2026年2月19日に公表いたしました株式会社明文堂プランナーの書店事業承継に伴い、新たに富山県、石川県への出店規模の拡大となります。承継いたします9店舗につきましても、当社が取り組んでおります複合書店の強みを活かし、書籍や書籍以外の商品・サービス・テナント等について導入を推し進め、併せて運営効率化の見直しも実施してまいります。

引き続き、書店活性化のための取り組むべき課題が、現在当社が取り組んでいるものであることから、書籍を軸に掛け合わせる企画・商品・イベント・事業等を追求し、来店価値の最大化を目指し、計画を実行してまいります。グループ子会社も、1社増え5社となりますので、さらに連携を強化し、相乗効果を最大に活かせるよう、取り組んでまいります。

本文書に関するお問い合わせ先：株式会社トップカルチャー 取締役経営企画室長兼管理本部長 吉田勝一
〒950-2022 新潟市西区小針4-9-1 電話 025-232-0008